



立志 鍛錬 協調

令和2年7月13日号

立三中

立川市立立川第三中学校
Tachikawa Daisan J.H. School

だより

三中SPIRIT（三中生の心意気）

校長 今本 由美子



デザイン画を見るときも列毎に距離をとって

通常の時程での学校生活が再開して約一か月、少しずつ新しい学校生活の形にも慣れてきました。ソーシャルディスタンスを心に留めながらの授業や学校生活ではありますが、生徒の活気ある声が校内に響き、やはり生徒あつての学校だなあとしみじみ思う日々です。

現在学校では、授業や委員会活動、部活動、また行事への取り組みなど、安全を確保しながらどこまで活動の幅を

広げられるか、試行錯誤の毎日です。感染症の広がり具合によっても対応を変えていかなければなりません。そのため、今後、状況に応じて計画を変更したり、取りやめなければならないことも出てくると思います。それでも、「できないかもしれないからやらない」のではなく、「どのように工夫すれば実施できるか」を考え、準備を進めていきたいと考えています。

さて、制限の多い学校生活の中ではありますが、三中生は、前向きに自分たちのできることを考え、行動してくれています。一斉登校が再開して間もなく、生徒会本部が、校庭に雑草がたくさん生えているので、昼休みに、皆で雑草抜きをしようと全校に呼びかけました。すると連日150人程の生徒が参加してくれました。計3回の作業で、校庭はほぼ元通りに。三中生のパワーを感じた出来事でした。

授業でも、最初はおそろおそろ、発言も控えめな感じでしたが、日に日に、積極的に活動に参加したり、発言する姿が見られるようになってきました。ペアワークや意見交換も、3密を避け、感染予防を意識しながら、様々な工夫をして取り組んでいます。その形式や方法は以前とは違ってくるとは思いますが、思考力・表現力の向上、主体的、対話的で深い学びを目指す授業づくりをこれからも全校で進めていきます。



昼休みに行われた「雑草抜き」



ペアで Dialog の発表



付箋を使って意見の共有
(貼ってある付箋は140枚!!)